

鹿追町農泊推進協議会 (農泊)

十勝総合振興局



【鹿追町の概要】

① 自然環境

十勝の北西部に位置し、道内一の標高を誇る自然湖である然別湖を有しています。
面積は404.70km²で十勝総面積の3.7%を占め、北高南低の扇状に丘陵地帯が広がり、農耕適地となっています。
気象は積雪寒冷地帯にあり、晴天が多く、降水量・積雪量が少ないものの寒暖の差は大きなものがあります。

② 人口

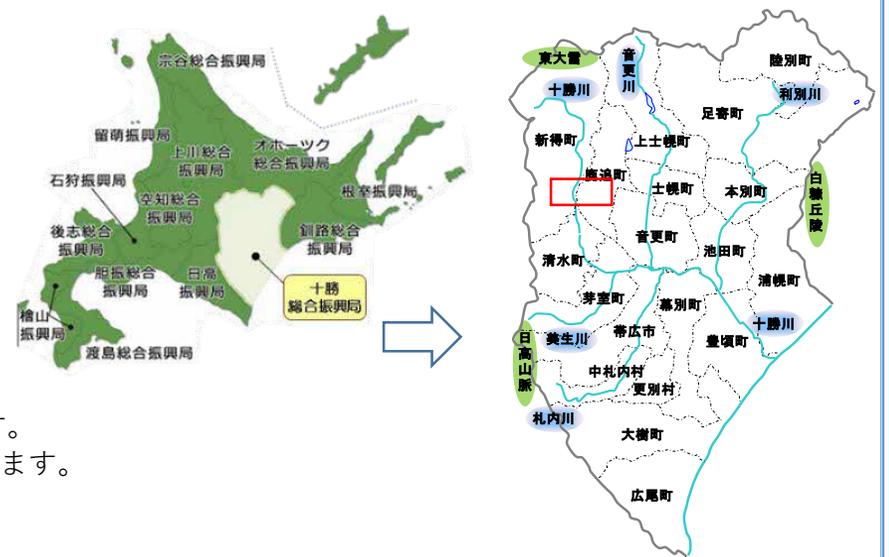
5, 5 4 2 人（国勢調査2015年より）

③ 主な産業

- 農業：畑作・酪農を中心とした大規模農業を展開、200億円を超える農業生産額の実績を誇っています。
また、バイオガスプラントによる、家畜糞尿から消化液の製造、バイオガスを活用した発電、車両燃料、余剰熱を活用したハウス栽培、水素エネルギーなど、新時代の資源サイクルの推進が図られています。
- 観光：大雪山国立公園の自然に恵まれ、「然別湖」を中心として、年間70万人を超える観光客が訪れています。
2013年に「とがち鹿追パーク」が、十勝管内初の日本ジオパークに認定され、新たな観光資源となっています。

④ イベント等

- しかりべつ湖コタン（1月下旬～3月下旬）、白蛇姫まつり（7月第1土曜）等



【協議会の特徴・理念】

グリーンツーリズム（以下「GT」という）を中心とした地域資源を活かした取組を地域の各分野（GT事業者、アウトドア事業者、飲食関連事業者、商工事業者等）の事業者が連携した取組に発展させ、「農泊」を推進するためのワンストップ窓口を築き、ツアーの企画・商品化、販売の実践的取組で「農泊」を事業化し、鹿追町への集客力を高める。

【協議会の概要】

① 設立年 2017年～

② 構成員・代表者（又は団体）

会長：山岸 宏（レストランカントリーパパ）
事務局：武田 耕次（NPO法人北海道ツーリズム協会理事）

③ 協議会設立の経緯（きっかけ）

鹿追町では、1990年代当初からGTを事業展開して農村観光の事業化に取り組んで来ましたが、事業者毎に独自の受入をおこなっており、地域の様々な資源を一体化させた受け入れに至っていなかったため、町内の受入をワンストップで対応可能な仕組みと拠点を整備するため、協議会を設立し取り組むため設立されました。

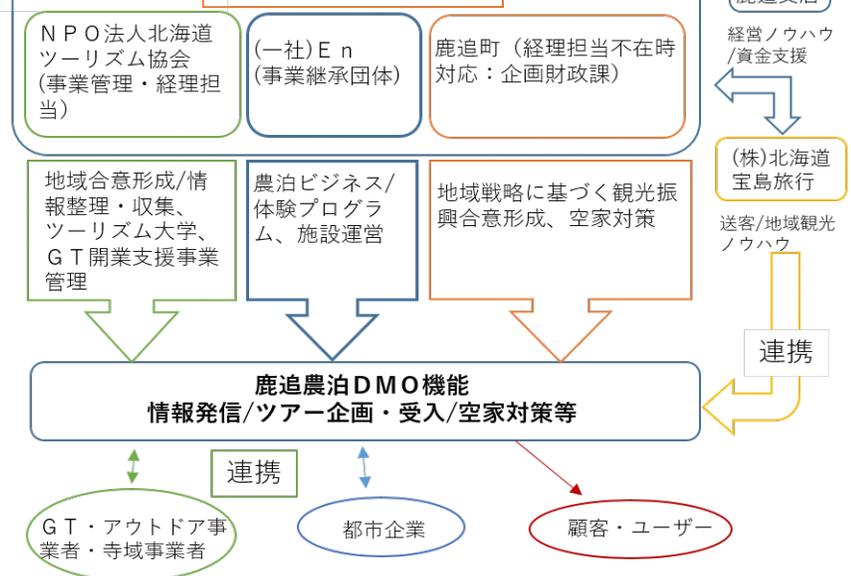
④ 活動内容

- 地域の各分野の事業者が連携したツアー企画、商品作り
- ワンストップ窓口機能の確立
- 情報の一元化、地域の魅力を伝えるための情報発信
- 事業継承のための後継者育成、農泊実践者拡大に向けた講座開催

⑤ 現在の課題

- 体験プログラムの更なる充実
- 農泊事業者の拡大・後継者の育成
- コーディネーターのスキルアップ（多言語対応など）

【実施体制図】 鹿追町農泊推進協議会



【平成29年度インバウンドモデルツアー（タイ）の感想】

- ・農園のご飯はユニークでまた食べたくなります。サービスはとても素晴らしかったです。（ファームレストラン）
- ・いままでで一番の体験、スタッフもパイロットもとてもよかった。温かいケアをしてくれた、彼らはプロフェッショナルだと感じました。
（熱気球フリーフライト）
- ・周りの景色はとても美しく、空気がとても冷たかった。このアクティビティは気に入りました。（ホーストレッキング）
- ・畑はとても広く、驚いた。より多くの時間をこの畑で過ごしたいと思った。
（農業体験）
- ・じゃがいもやワサビがどのように栽培されているか知ることができた、とても面白かったです。あんなに大きなキャベツは見たことがない！（農業体験）



【特徴的な取組】

- ・1990年代からG Tに取り組み、2000年～2002年には北海道ツーリズム大学を開催（「観光地域づくり」理念の具体化、地域関連事業者の連携等）し、グリーン・ツーリズムの先駆的担い手を多数輩出するほか、多くの実践者が個性豊かなG T事業を展開している。
- ・H 2 9に農泊事業に採択され、古民家を移築リノベーションしたカフェ・ゲストハウスを整備し、農泊事業の中核法人としてワンストップ窓口機能の確立に向けて取組を進めている。（畑ガイドツアーとアウトドア・アクティビティを組み合わせた企画作成、手配、値付、受入の実証的な取組。都市旅行事業者と連携した企画商品販売）
- ・北海道ツーリズム大学（宿泊・集合研修形式）に変わる新たな農泊実践者拡大、後継者育成（ツーリズム大学＝G T実践者の拡大、事業の継承、畑ガイド受入農家、ガイド養成及びプログラムの充実、観光地域づくり講座、インバウンドマーケティング講座）の仕組みづくりについて研究を深めるなど全道の農村ツーリズムをリードする地域としての自覚の元に研鑽を続けている。

【主なコンテンツの種類及び実績（過去3カ年程度）】

鹿追町協議会としての宿泊及び飲食関係実績

年度	H 2 9	H 3 0	R 1 (H31)	R2上期	備考
宿泊実績(人)	2,580(300)	2,670(310)	1,650(500)	197	
飲食(人)	85,000	90,000	90,000	14,625	インバウンドの区分はしていない
飲食(千円)	87,000	88,500	88,500	14,381	
体験(人)	4,000(200)	4,600(210)	6,600(700)	660(0)	農業体験のみ

() の数値はインバウンド客分



【連絡先】

代表窓口：鹿追町農泊推進協議会事務局（NPO法人北海道ツーリズム協会）
TEL：0156-69-7333 FAX：0156-69-7334